

成寿山善光寺

三世・黒田博志住職晋山結制

大圓武志大和尚七回忌法要

平成二十二年十一月二十八日、善光寺で三世黒田博志住職の晋山結制並びに大圓武志大和尚七回忌法要の盛儀が執り行われました。二世中興大圓武志大和尚の遺志を体して第三世を継承した博志住職が先代大圓大和尚の七回忌に際し、成寿山善光寺住職として檀信徒に就任を披露しました。

新住職の晋山行列は、かわいらしい衣装の稚児たちを先導にして午前八時に港南会館を出発し、善光寺へ向かいました。

釈迦殿前で晋山の第一声を発した博志住職は、釈迦殿に上殿し、まず御本尊さまに新任のご挨拶をし、結制 上堂（修行僧が集結——仏さまの定められた制度に従うという意味）の盛儀に臨みました。

晋山式を見守る西堂は本寺である栃木県大田原市の光真寺ご住職黒田俊雄老師、後堂は大圓武志大和尚と同級生の法友、金沢市の大乗寺山主東隆眞老師。

釈迦殿は、関係のご寺院、檀信徒総代、先代の頃からご縁をいただいている縁者や親類の方々が随喜し、博志住職の一挙手一投足を見つめる中で、結制上堂、首座法戦式、先住七回忌法要、大般若祈祷法要と重儀が次々に行われました。

新住職として仏の座である須弥壇の上に登った博志住職は、大恩教主本師釈迦牟尼仏、高祖承陽大師、太祖常濟大師、開山棟庵白純大和尚、



さらに總持寺前副貫首斎藤信義老師、先代の法友であった山形保春寺住職大八木春邦老師に感謝報恩の香を手向け、また檀信徒の皆さまの家门繁栄を願い、そして父であり師匠である大圓武志大和尚への報恩の香を焚き、法語を唱えました。

この後、問答を展開した博志住職は、自らに課して「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」と信念を吐露し、次々に質問をしかける僧に警策をかざし、やさしく厳しく明快に応酬。「すべて檀信徒の皆さまのおかげ」「先代からは何も動ずることのない心を受け継ぎたい」と決意を吐く。

父母の恩の重きこと天の極まりなきが如し。師父大圓武志大和尚への報恩の思いでしばし絶句する場面もありました。随喜の僧侶も檀信徒の皆さまも一様に博志住職の雄姿と在りし日の

先代の面影とを重ねてもらい泣きする場面もあり、感涙に濡れる晋山式となりました。

法戦式では、善光寺徒弟の黒田賢志上座が首座の役に就き、「達磨廓然」の公案をもとに堂々の問答をくりかえしました。

西堂の黒田俊雄老師は、若き博志住職と賢志首座に「すりこぎは身を削って、ろうそくは身を燃やして人の役に立つ。僧侶もかくの如し。これより更に心を合わせて報恩の行に邁進してほしい」と語りかけるように慈しみ洋々たる前途を激励しました。

この後、大圓武志大和尚の七回忌法要が大乗寺山主東隆眞老師の導師で営まれ、また檀信徒各家のご先祖供養と、身代不動明王に皆さまの健康と家門繁栄を祈念する大般若祈祷法要が博志住職導師により厳修されました。

そして最後に新命住職と筆頭総代・熊谷豊太郎氏の挨拶をもって無事円成致しました。

善光寺では、晋山式は二回目です。前回は大圓武志大和尚の晋山式、昭和四十七年十一月二十八日、奇しくも同じ日です。

師父大圓大和尚の晋山式には、新命方丈の「生」はなかったこととなります。誕生以来二十八年、或る日突然、師父の遷化に遭遇し、用意と準備のないまま、役割と責任が委せられ途方に暮れることになりました。

以来、遠きを追いながら、兎にも角にも次代を継承すべく師父の「志」を探り、生前どのように行動されてきたのか、それまでの「やりかた」や「しきたり」を探し求め、昼夜を分かたず、仏道に翻弄される刻々。師父の偉大な足跡と事蹟は一朝に修得できる新命の許容量ではなかつたと述懐されます。

しかし新命を待つ檀信徒にすれば一日千秋の
想いでありました。

晋山式と先住七回忌は、師父の導きであり、
決して偶然ではなかったのでしょうか。いよいよ
第三世を継承、謙譲の美徳をほしのままに成寿
山善光寺に立つ新命、まことありがたき不思議
であります。



法要を終えて 実行委員長の挨拶

晋山結制実行委員長 熊谷 豊太郎様

大勢のご寺院さま法友さまのご参加、ご協力により式をおえられたことを御礼申し上げます。

博志方丈には、心の通う善光寺として人々を幸せに導き、仏教と社会平和のためにご尽力いただきましたと願います。大圓方丈は今日の博志方丈のお姿をご覧になって喜びながら大変安心しておられます。

総代の皆様とともに善光寺の興隆を祈っていききたいと思います。



祝賀会でご挨拶を頂戴した方々



大乘寺山主 東 隆眞老師

武志老師の遺志を継いで山門興隆につとめていただくことを願います。



神奈川県第二宗務所

第五教区教区長

近藤一光老師

山門繁栄を祈念して乾杯。



善光寺護持会会長 国廣 敏郎様

あらためてみほとけの心を深く教えていただいた気がしています。敬愛する博志方丈を支えていきたいと思っております。



光真寺住職 黒田俊雄老師

みなさまのお心によるあたたかい晋山式、七回忌法要が無事おわり、あつく御礼申し上げます。



◇晋山結制式に際しまして、各方面から多数の祝辞、法語、祝電をお寄せ頂きました。ここにご紹介させて頂きます。(順不同)

温かく心のこもった文面の数々

大本山永平寺貫首 福山諦法 様

祝詞

本日の吉辰を卜して晋山結制の式典を挙げらる洵に慶祝の至りに堪えません

惟うに 晋山開堂は寺門の大典であり九旬安居の結會は佛祖の軌範とするところ我が宗門の宗旨ここに始まり人類無上最深の文化これに依りて興るといふべきであります

冀くは曩祖の垂範に従い綿密なる行持と卓絶した教化とに依り普く無縁大悲の法門を布き齋しく單伝自覚の正法を弘められ貴寺の檀信徒はもとより国家社會の要請に應えられんことを祈念

して祝詞と致します

大本山總持寺貫首 大道晃仙 様

祝辞

本日茲に吉辰を卜して善光寺晋山結制の式典を修行さるるの勝縁洵に慶祝の至りに堪えません

貴寺は由緒深く歴代よく宗門の伝燈を護持して両祖大師の宗風を昂揚し地域社會の福祉と人心の安寧に貢献されて來ましたが新命宗師には道行綿密にして正法の興隆、寺門の經營檀信徒の教化に邁進され將來を期待さるる宗師であります

今茲に山門頭高く法幡を翻し佛祖正傳の佛法を宣明して萬世の太平萬民の和樂を祝祥されましたこと等しく感激するところであります

本日の盛儀に際し寺門の繁榮と宗師の愈々の活躍を祈念し特に專使を派して深甚なる祝意を

表します

曹洞宗神奈川第二宗務所所長

石田征史 様

祝 辞

本日茲に、吉辰を卜して晋山開堂の式典を挙行されるに當たり神奈川第二宗務所管内寺院を代表して心より祝意を表します。

貴師は、平成十七年一月ご當山住職に就任以來、良く曹洞宗の伝灯を護持し高祖道元禪師、太祖瑩山禪師の宗風を拳揚して、常に地域社会の福祉と人心の安寧に貢献されてまいりました。

御承知の通り、御當山は先代故黒田武志老師が新寺建立されたお寺であり、貴師はその跡を継ぎ善光寺季刊誌「成寿」の発行や横浜善光寺留学僧育英会の運営にも尽力されています。

また道念厚く、大本山永平寺での修行に加え、タイのワットパクナムやアメリカのロサンゼルス禅センター、ドイツ普門寺などの禅道場でも修行をされ、今後の曹洞宗を担う若手宗侶の一人として多方面で御活躍されています。

この度、檀信徒の輿望を担って晋山開堂を修行され、佛祖の慈恩に報答されましたことにお慶び申し上げます。

茲に本日のご盛典に際し寺門の興隆檀信徒の家門繁栄と貴師の益々のご活躍を祈念し祝辞といたします。

【祝電】

大本山 總持寺

貫首 大道 晃仙貌下

副貫首 江川 辰三様

西堂 松田 文雄様

監院 横山 敏明様

晋山結制の盛儀に當たり心より祝意を表します。

☆ ☆ ☆

神奈川県東部嶽山会会長 宗澤文良様

晋山結制上堂の御隆儀を心から御祝い申し上げます

法燈益々の御興隆を祈念申し上げます

☆ ☆ ☆

神奈川県東部總和会会長 菅原節生様

ご盛典を祝し 寺門の興隆と益々のご活躍を祈

念申し上げます

☆ ☆ ☆

曹洞宗神奈川県青年同志会様

御盛典を祝し、寺門の興隆と益々の御活躍を祈

念いたします。

☆ ☆ ☆

即心会 一同様

晋山結制を祝しますとともに、貴山の益々の御

発展を御祈念致します。

☆ ☆ ☆

神奈川県第二宗務所 所長 石田征史様

御盛典を祝し御老師の益々のご活躍を祈念致し

ます。

☆ ☆ ☆

玉泉寺 海外留学僧 沖田玉映様

晋山結制おめでとうございます。益々のご活躍

を期待しております。

☆ ☆ ☆

曹洞宗宗務庁人事部長

宗興寺住職 中野重哉

ご盛典を祝し、益々の山門興隆、益々のご活躍

をご祈念いたします。

☆ ☆ ☆

ドイツ大悲山普門寺 中川正寿様

晋山の盛儀、心よりお祝い申し上げます。

From: Ingrid Appels **To:** Jun-Sama
Sent: Saturday, November 27, 2010 2:26 AM
Subject: Shinsanshiki Ekyo

To Rev. Hiroshi Kuroda;

Our warmest congratulations on the occasion of your Shinsanshiki. May your Mountain Accession be auspicious and the Zenkoji sangha prosper and grow under your guidance.

Deepest Gassho,
 The Maezumi family,

Ekyo, Michi, Yuri and Yoshi

From: Ingrid Appels **To:** Jun-Sama
Sent: Saturday, November 27, 2010 2:49 AM
Subject: Shinsanshiki Shugetsu (please throw away my first)

Dear Rev. Hiroshi Kuroda,

From Oranda, we send you our warm-hearted congratulations for your Shinsanshiki.

May Zenkoji, your sangha and your family enjoy blossoming times under your wise guidance.

Omedeto gozaimasu!

Deep Gassho,

Tenkei Roshi, Myoho Sensei, Shugetsu

From: Ingrid Appels **To:** Jun-Sama
Sent: Saturday, November 27, 2010 7:05 AM
Subject: Shinsanshiki Genpo

Dear Hiroshi Kuroda,

Congratulations on this wonderful occasion of Shinsanshiki from all of us here at Kanzeon Sangha.

Love,

Genpo Merzel

送信日時:2010年11月27日(土)2時26分

黒田博志様へ

晋山式の慶賀に、心よりお慶び申し上げます。

山門の上当り、善光寺一山の皆様が、新命方丈様のお導きにより、ご発展なされますよう祈り上げます。

心よりの合掌

前角一家、慧鏡 光代、純道、嘉美より

送信日時:2010年11月27日(土)2時49分

黒田博志老師へ

オランダから、晋山式に当たり深甚よりお祝い申し上げます。

善光寺とお檀家様、またご家族の皆様、貴方様の知恵あるお導きにより花咲くような美しいこの時をお慶び申し上げます。

おめでとございます!

心からの合掌、

コペン天慶老師、妙法先生、秋月より

送信日時:2010年11月27日(土)7時05分

黒田博志老師へ

このたびの素晴らしい晋山式に当たり観世音サンガー同心からお慶び申し上げます。

玄法マーゼル老師より

訳: 桐ヶ谷寺住職 黒田純夫老師

